

授業科目	保育内容 環境				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21613J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP5-2			
担当教員	上村 眞生							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務家教員として、保育所における環境を通した保育の展開について講義を行い、アクティブラーニングを通して実践ができるようになる。 ・乳幼児の「環境」について理解すると共に、5領域の他の領域との関連から見た「環境」について理解する ・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得する ・保育の環境構成ができる 							
学生が達成すべき行動目標	<p>環境問題を含む、乳幼児の環境に関する諸問題について関心を持つ(DP3-1)</p> <p>5領域の他の領域と環境の関係性を踏まえた上で、環境を通した保育をするための環境構成ができる(DP5-2)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	30	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					50		50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			20	30			50	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
環境問題を含む、乳幼児の環境に関する諸問題について関心を持ち、関連する資料を基に保育教材を作成することができる 5領域の他の領域と環境の関係性を踏まえた上で、積極的に保育現場に赴き、環境を通した保育実践・反省・改善ができる				環境問題を含む、乳幼児の環境に関する諸問題について関心を持ち、関連する資料を収集・整理できる 5領域の他の領域と環境の関係性を踏まえた上で、環境を通した保育を学生を子どもに見立てて実践できる				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する	講義	復：グループ形成・分担表作成	60
2	領域「環境」 5領域の中での「環境」の位置づけについて解説する	講義	予：保育所保育指針の関連部分の確認	30
3	身近な環境 1 保育の中で関わる環境のうち、動物について紹介し、関わり方を考える	講義・グループワーク	予：身近な動物について、名前・生態・扱い方等を調べておく	60
4	身近な環境 2 保育の中で関わる環境のうち、植物について紹介し、関わり方を考える	講義・グループワーク	予：身近な植物について、名前・生態・扱い方等を調べておく	60
5	身近な環境 3 保育の中で関わる環境のうち、地域・社会について紹介し、関わり方を考える	講義・グループワーク	予：身近な地域の文化や伝統、習慣について調べておく	60
6	身近な環境の体験 1 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	演習	復：授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120
7	身近な環境の体験 2 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	演習	復：授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120
8	身近な環境の体験 3 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	演習	復：授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120
9	人的環境としての保育者 保育者の「人的環境」としての在り様について解説し、その重要性を知る	講義	予：保育所保育指針の関連部分に目を通しておく	30
10	保育実践と保育内容環境【A グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。	演習	予：指導案の作成・模擬保育の準備 復：自己評価表の記入	担当回 に 180 分
11	保育実践と保育内容環境【B グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。	演習	予：指導案の作成・模擬保育の準備 復：自己評価表の記入	担当回 に 180 分
12	保育実践と保育内容環境【C グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。	演習	予：指導案の作成・模擬保育の準備 復：自己評価表の記入	担当回 に 180 分
13	身近な環境の体験 4 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	演習	復：授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120 分
14	身近な環境の体験 5 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	演習	復：授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120 分
15	まとめ 保育内容「環境」について、半期間の内容を振り返り、体系的知識として整理する	講義	予：半期間の学習資料・内容について目を通しておく	60
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	身近な生活環境(自然・社会・地域等)に関心を持ち、名称や事象についての知識を得ておくことと、積極的に関わろうとする態度が必要			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜指示する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと			
達成度評価に関するコメント	課題レポートの内容で評価する(20点)。 授業中の発現頻度、質問頻度、模擬保育時の関り方で評価する(30点)。 提出物、指導案の内容で評価する(50点)。			